



身に付けたい「力」

3学期に入ってから、この学校通信にて『授業』の大切さや、学ぶことの意義について紹介しています。『授業』を有意義な時間とし、生徒のみなさんの毎日の生活や将来につなげることが何よりも大切です。各教科において身に付けることが求められている知識や技能はもちろんのことですが、それ以外にも身に付けたい「力」があります。



前号で紹介しました、『キャリア教育』の中で育みたい主要な『4つの能力』である、①『人間関係形成・社会形成能力』、②『自己理解・自己管理能力』、③『課題対応能力』、④『キャリアプランニング能力』を、少し説明します。

①『人間関係形成・社会形成能力』には、「多様な他者の考えや立場を理解する」「相手の意見を聴く」「自分の考えを正確に伝える」「自分の置かれている状況を受け止める」「他者と協力・協働して社会と関わる」などがあります。これらは、あいさつのように日常的に交わされるやり取りをはじめ、様々な他者との関わりの中で身に付けることができます。相手の立場を慮ったり、折り合いをつけたりしながら、他者や社会とよりよく関わっていく「力」です。

②『自己理解・自己管理能力』には、『『できること』『意義を感じる』『したいこと』を理解する』『社会との関係を考えながら主体的に行動する』『自分の思考や感情を律する』『今後の成長のために進んで学ぼうとする』などがあります。これらは、様々な体験をする中で自分の能力や可能性を把握し、将来の夢を実現させるために、計画的に取り組んでいく「力」です。

③『課題対応能力』とは、「様々な課題を発見し、それを分析して適切な計画を立てて、その課題を解決することができる力」のことです。これらは、基本的な生活習慣（身のまわりの整理・整頓、授業や部活動の準備、係や委員会活動など）を大切にしながら過ごす中や、各授業はもちろんのこと、道徳、総合的な学習の時間、行事等において、身に付けることができる「力」です。

④『キャリアプランニング能力』には、『『学ぶこと』『働くこと』の意義を理解する』『自ら果たすべき様々な立場や役割を理解する』『多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用する』などがあります。これらは、職業体験や職業講話等で様々な社会人と交流したり、自分の将来設計を立てたりする中で、身に付けることができる「力」です。

この学校通信のタイトルは『志』ですが、『夢』との違いは何でしょうか。そのことや、『キャリア学習』の意義についても、授業等の中で意見を出し合いながら、考えていってください。

TPOについて

先日、2年生全体で、本年度から本格的に導入された「タブレット」の使い方について考える機会がありました。毎日の授業で活用していますし、2学期にコロナウイルス感染症による休業の際には、「タブレット」を活用してオンライン学習を行うことができました。まだまだ課題はありますが、今後は「学び方」の一つとして一般的になっていくでしょう。また、各教室には Wi-Fi 環境



が整備されていますから、いつでもインターネットに接続できます。そのおかげで、どの授業においても調べ学習がすぐにできます。その気になれば、自分の趣味や興味のあることを検索して見ることもできますし、ゲームもできます。しかし、果たしてそれで良いのでしょうか。

生徒のみなさんに与えられているタブレットパソコンは、国や市の予算、つまり税金で準備されたものです。目的は「ICTを活用した学びを促進させること」であり、「学習ツールの一つとして、普通に活用できるようにすること」です。要は、学習で活用するためのものです。

みなさんは、『TPO』という言葉を知っているでしょうか。『TPO』は、Time (時間)、Place (場所)、Occasion (場合) の頭文字をとって、「時と場所、場合に応じた方法・態度・服装等の使い分け」を意味する和製英語です。この概念を発案したのは、一世を風靡したメンズファッションブランド「VAN」の創始者である石津謙介さんです。現在では、当たり前のように使われる言葉となっています。簡単に言うと「時間と場所と場合を考えて行動すること」です。ルールを細かく決めて守るようにすることもできますが、一人ひとりが考えて判断できると一番良いです。

2年生のとある生徒の意見に、とても感心しましたので、以下に紹介します。

“言われる指導”から“考える指導”に切り替わっていると感じるようになってきた。これらについて、「これはダメ」というより、「こういうことがあってこういうのはダメ」だと思えるようになった。今回のことで、やったことが良いことではないが、一回立ち止まったことで、使用の善し悪しが分かって、区別がついたことは俺にとってはプラスに捉えて良いものだと思う。

また、SNSとの関わり方についても、以下のような意見がありました。

人に嫌な思いをさせたり、迷惑をかけたりしてはいけないというあたり前の事ができていないので、あたりにしたいです。今後はこのようなことをなくしていきたいし、注意もしていきたい。なってしまったことは、なってしまったので後戻りはできないので、どうしていけばいいのかを考えていきたいです。

このように適切に考え、それを意見として述べることができる生徒たちがたくさんいることが、内部中学校の良さであり、希望であると思います。それを、適切な行動につなげていくためには、一人だけではなく、みんながそう思って取り組む必要があります。学校も社会も、そこに関わるすべての人が嫌な思いをせず、しあわせに過ごせることが、何よりも大切なことです。